

## 『リアスホール(大船渡市民文化会館・市立図書館)』只今建設中!

### ～大船渡地方振興局土木部～

大船渡市では、日頃から、市民による芸術文化活動が活発に展開されていますが、劇場として必要な舞台設備や大規模な収容能力を有した公共施設がなく、芸術文化活動の拠点施設の整備が求められてきました。

また、現在の市立図書館は老朽化が著しく、館内も狭隘であり、生涯学習時代を迎え、今後ますます多様化、高度化する利用者のニーズに的確に responding していくため、新たな図書館の整備が急務となっていました。



建設中のリアスホール

以上のことから、市民文化会館と市立図書館を共に合併建設計画の最重要施設に位置づけ、市民と設計者によるワークショップを重ねた結果、市民文化会館と市立図書館を一体的に整備することになり、現在、平成20年10月末の竣工を目指して工事が進められています。昨年11月には、一般公募の結果、施設の愛称が「リアスホール」に決定しました。

### ◆施設概要

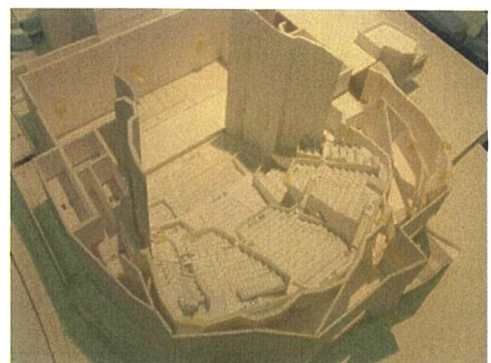
建物は、高低差のある敷地の形状を巧みに利用しながらも、ユニバーサルデザインの観点から、可能な限りレベル差をスロープで解消することとしています。

会館内は、大きく固定席1,100席の大ホールによる劇場と、3階建ての低層部に分けられます。このうち、低層部の1階に、日常的な文化創造スペースであるファクトリーゾーン、その上部の2階から3階にかけて図書館が整備されます。

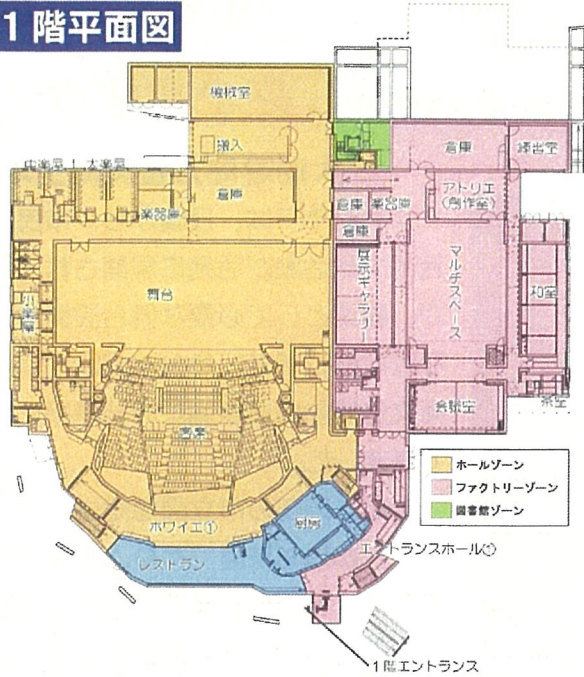
ファクトリーゾーンは、マルチスペースを中心に、可動間仕切りや周囲の諸室との組み合わせにより、さまざまな利用に供します。

また、図書館は、天井まで吹き抜けとなるマルチスペースの周囲を取り囲むよう回廊型を成し、館内の各ゾーンを体の不自由な方にも優しい緩やかなスロープで結びます。ファクトリーゾーンの諸室を図書館機能の一部として利用することにより、総合的に、多機能かつ高性能な図書館の実現を図ります。

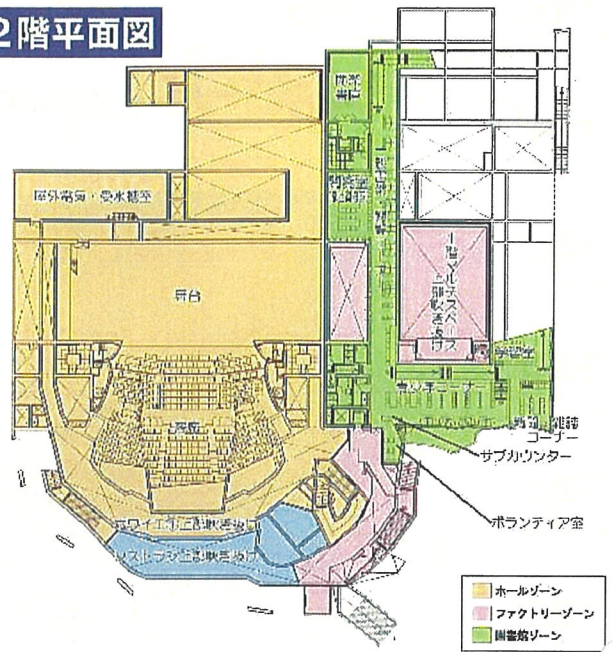
このように、複合施設としてのメリットを活かし、諸室を多面的に利用して効率的な施設運営に努め、芸術文化をはじめ多様な市民活動の広がりに柔軟に対応しながら、「人と情報の交流拠点」の形成を目指しています。



1階平面図



2階平面図



◆市民参加型の施設整備

リアスホールの整備にあたっては、設計段階から市民が参加しています。現在、一般市民等で構成される「自主事業実行委員会」では、開館当初となる今年度の自主事業（基本方針、実施事業数、事業の構成など）の検討だけでなく、イベントの企画・実施など、精力的な活動を展開しています。



◆HP 案内

施設の詳細等については、大船渡市のホームページをご覧ください。

[http://www.city.ofunato.iwate.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT\\_template=AC020000&Cc=7d431e020d20257](http://www.city.ofunato.iwate.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&Cc=7d431e020d20257)

